

例会報告

第2624回例会報告議事録

日時 令和2年10月27日（火曜日）

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「手に手つないで」

ゲスト：なし

ビジター：なし

S.A.A.: 小池喜之

会長挨拶

村越会長



リモートで参加して下さっている塩毛会員、古谷野会員、小野会員よろしくお願い致します。

10月最後の例会になりました。例年ですと最終例会で夜間の家族例会などを開催するところですが、今のところ自粛せざるを得ない状況です。

社会奉仕事業も本来なら11月14日に「婚活パーティー」を開催する予定でしたので、今頃はその準備に忙しい時期であったことと思います。毎回申し上げるのも憚れますが、この新型コロナが一日でも早く終息する事を願っております。

さてロータリーのこの1週間の動きですが、LINEのグループでも情報がアップされていたので皆さんもご存知かと思いますが、25日、26日の2日間、米山奨学生の研修会があり、奨学生のフォンさんと鈴木会員が参加しております。例年ですと米山梅吉記念館を見学するなど県外へのバス旅行なのですが、今年はやはり新型コロナの影響で、漆原ガバナーの経営する勝浦のブルーベリーヒルズホテルに現地集合で行われたそうです。この後、鈴木会員から報告があると思いますのでよろしくお願い致します。

また先週の土曜日、10月24日は「ロータリー世界ポリオデー」でした。国際ロータリーの最重要課題であります「ポリオ根絶」の為、「END POLIO NOW」と書かれた赤いTシャツを着て、市民への啓蒙活動となるイベントを各地のロータリークラブが開催しようというのですが、第2790地区では現在の状況下では大々的なイベントを開催するクラブはなかったようです。

我々ロータリアンも、ともすればロータリーの国際的活動を忘れがちですが、私たちの活動や財団への寄付が確実に国際社会に貢献していることを皆さまにも認識して頂きたいと思います。

本日は倉持幹事が欠席ですので、改めてご案内いたしますが、来週11月3日は祭日の為、休会です。その代わり6日が第11グループの情報研修会です。ザ・クレストホテル柏に12:00集合でお願いします。

本日は佐藤雅教会員の卓話です。外部卓話をお願いすると、新型コロナの状況で例会が中止になるなど、ご迷惑をお掛けするかもしれないという事で、荒井プログラム委員長にはしばらくメンバーの卓話をお願いしております。どなたも話の引き出しが豊富で、毎回楽しく拝聴しております。本日もよろしくお願い致します。



リモートで出席の塩毛会員、古谷野会員、小野会員

村越会長より三枝会員へバッジと4つのテストを授与





特にございません。

出席委員会報告

前田委員長



25名(出席免除者含む)出席(全員で32名) 出席率78.12%

業務による欠席者：倉持会員、堤会員、寺井会員、日暮会員、福武会員、
柳田会員、湯下会員

米山記念奨学委員会報告

鈴木会員



何年もらくらくホンを使っていたのですが、息子に勧められてiPhoneを買いました。勝手が全然わからなくて、毎日うちの若い職員に教えてもらっています。やっとこないだ米山の時に写真を3枚撮りました。そんなわけでiPhoneがちょっと嬉しくなりました。

私はおかげさまで4回もカウンセラーをさせていただいています。年々、米山奨学会の有り様、対応がいろいろと違ってきています。手を差し伸べるべき人達のための事業である米山の活動はもっともロータリーらしい活動だと思っています。

今、ベトナムが中国に次いで第2番目に留学生が多いです。2万人のベトナムの留学生が帰りたいけれど今、帰れない。学びたくても学べない。働きたくても働けない。帰りたいけど帰れない。コロナのせいもあるし、お金もなくてということもあります。

米山の奨学生はほとんどが貧しい国からの学生さんが多いです。スリランカの女性の奨学生は毎月もらえる10万円のうち3万円を国でサポートが必要な人に仕送りしているそうです。

年に1回の米山奨学会の大イベントである研修会に欠席されるクラブがあるのですが、カウンセラーになられた方は出席できない場合は必ず代理の方を立てていただければと思います。是非そのことは若い方をお願いしたいと思います。

地区委員会報告

藤本会員

**職業社会国際奉仕の統括委員会報告**

先週23日の金曜日にガバナー事務所で行われた職業社会国際奉仕の統括委員会 第5回の報告をさせていただきます。

災害時のネットワークを作りたいという話が出ていまして、全国の非常時のあり方をいろいろ聞いています。

熊本の人吉で甚大な被害があった時に、人吉のガバナー事務所に物資を集めて、必要な方はご自由に持って行ってくださいという形を取ったそうです。

新潟では災害時に県市町村等とも連絡が取れるような災害ネットワークが構築されていて、それは千葉でも当てはめることができるのではないかとということで、次回のセミナーの時に大梓の発表をさせていただきます。年度内にしっかりとしたものを作り上げていく予定です。

ガバナーからの依頼事項です。千葉県の中で先般の台風の被害で480件の家屋の全壊があったそうです。ロータリーとしましては、他の地区の皆様から約4千万の義援金をいただき、その半分は既に振り分けられています。残りの2千万については、関係している市町村の役場に義援金として渡し振り分けてもらうとのことです。

会長幹事等にはファックス等が行っていると思いますが、12月20日(日)に奉仕セミナーが千葉で行われます。職業ならびに社会、国際奉仕の委員の方から今までの事例の発表がございます。人数制限がありますが、ズームでも参加ができますので、ぜひご覧いただければと思います。



特にありません。

卓話

佐藤雅教会員

**歌謡曲が輝いていた頃**

前回、歌謡曲が輝いていた頃の話をしたましたが、第2弾ということで続きの話をさせていただきます。

歌謡曲は昭和に入って、いろんなレコード会社ができ、作曲、作詞、歌手と分業体制ができ発展してきました。先日の服部会員の高尚な百人一首の話を聞いた後で、ずいぶん離れた話をするのも残念なのですが、私が知っている限りの話をさせていただきます。

私が歌謡曲をなんでこんなに考えるようになったかという、私は小学校3年か4年の時から新聞配達をやっていました。ろくに字も読めないし、人名は難しく誤配をしては店長と謝りに行ったのを覚えています。4年間やったのですが、商業区域に配達していたので、映画館やパチンコ屋がありました。

私は小学校1年の時に終戦になりました。8月15日に学校へ行ったら先生が、今日は大事な話があるから午前授業だとのことで帰ってきました。帰ってくる途中、大人たちは皆泣いていました。なんのこともよくわからなかったですけど、戦争に負けたことはわかりました。日本は敗戦国で食べるものもない本当につらい状況でした。

朝刊と夕刊、全部の新聞を配達しました。朝から夕方まで映画館等で歌謡曲が流れていて、知らない間に体に染みつきしました。その頃は子どもが歌謡曲を歌おうもんならピンタが飛んできますから、耳だけは肥えていったと思います。

昔から歌は世につれ世は歌につれと言いますが、世相と歌というのが関係あるのかなと思いました。今から22年前に還暦を迎えた時、自分の60年間を振り返る時期がありました。小学校の時から耳にこびりついた歌謡曲とその時の世相について整理したいと思い、調べた結果を我孫子医師会の会報に投稿しました。その時の資料が残っていたので、今回、卓話で利用させてもらってお話しています。

歌謡曲が大衆化されたのは昭和に入ってからです。

昭和20年というと敗戦でした。ちょうど今、NHKの朝ドラ「エール」に出てくる、あのままでした。食べるものはもちろんなく、今も自製の世の中ですが、当時はそんなもんじゃなかったです。上野駅の地下道には当時、戦争孤児が集まって、すごい状態だったようです。

昭和21年に出てきたのが、並木路子の「りんごの唄」でした。その歌は軽い、明るい感じの歌でしたから、空腹と憂いと孤独にさいなまされている国民に暖かい風を吹かせてくれて、皆の心を救ってくれました。

「鐘の鳴る丘」というドラマの主題歌「とんがり帽子」を古関裕而さんが作って、平成天皇も幼少の頃、口ずさんでいたそうです。

それと同時に昭和21年から海外からの引き揚げ事業が始まり、満州から博多、シベリアからは舞鶴、樺太からは函館にどんどん外地から帰ってきました。私のような子どもが新聞配達をしなければならなかったのは、若い男性が戦争でいなかったから駆り出されたんだと思います。

時勢を表すような、バタヤンという田端義夫の「かえり船」という曲が大ヒットしました。日本はますます混沌とした時代になっていきました。傷病兵は路上で寄付してくれという人もいるし、戦争孤児は上野駅に集まっていた。今、NHKの朝ドラの「エール」にも少しそういう場面が出ているようです。ああいう時代でした。

その時に救われたのがやっぱり歌だったのです。それが最初に出た並木路子の「りんごの唄」だったり、それからどんどん出てきた歌でした。その歌で少しは日本国民も救われたのではないのでしょうか。

もう一つ時勢を表したと思われるような曲がありました。それは「星の流れに」という曲です。よっばど詳しい人でないとわからないと思います。この曲は菊池章子という人が歌いました。元々この歌が有名になった経緯は別にありまして、22歳の看護婦さんが引き揚げてきて、帰ってきたら身内もないし誰もいない、家も焼けて、食べ物もなく、仕方なく食べ物を恵んでもらう人を探す、から始まって、

握り飯をおごってもらったことがきっかけで夜の女になったという話を毎日新聞に投稿されました。バタヤんの作詞家でもあった清水みのるが、この記事を読んで、どうしてこうなったのかという怒りが込み上げ、この「星の流れに」という詩を作ったそうです。誰が彼女を責めることができるのか、元を正せば戦争が悪いんだと、一晩で書き上げ、社会派第一号の歌になったと思います。

なぜこの歌が有名になったかという、「こんな女に誰がした」という最後の部分で、これは日本全国で大ヒットして「こんな息子に誰がした」とか「こんな夫に誰がした」とか替え歌もでき大変な反響でした。

本当に、昔から歌は世につれ世は歌につれと言いますが、その世代の流行を歌は表していると思います。

菊池章子という方は当時、池袋に小さなスナックをやっていて、友人がそこに連れて行ってくれました。本当に素敵な人でした。清楚で清潔感のある女性でした。考え方もそうですが、お話をしてもきちんと筋の通った話のできる女性でした。

彼女が話してくれた話ですが、「星の流れに」という曲は最初から彼女に来た曲ではなくて、淡谷のり子に歌ってもらったということになっていたそうなのです。ところが淡谷のり子は売春婦の歌なんか歌えるかと蹴ったそうで、菊池章子さんが手をあげたそうです。彼女も最初はとても歌えなかったそうなのですが、新聞に投稿した彼女のために歌ってあげようと、北風に向かう気持ちで背筋を伸ばして歌わせてもらったと話してくれました。後にも先にも私が芸能人に会ったのはこの方だけです。

歌謡曲といっても、いろいろな社会現象を裏に背負って、この世に出て来ているんだと思い、還暦の時に振り返って、歌謡曲と世相というのがどんな関係にあるのか調べさせてもらいました。

その他にいろんな歌が出てくるわけですが、それはまた次回にさせてもらおうと思います。NHKの「エール」であの頃の世相の場面がよく出るものですから、しかも古関裕而という天才的な作曲家の物語で非常におもしろいですね。毎朝、楽しみに見えています。

ありがとうございました。

開会の言葉

村越会長

佐藤雅教会員、卓話ありがとうございました。

来週11月3日は休会です。その代わりに11月6日がグループの情報研修会で、参加される方は12時集合でお願いいたします。

以上を持ちまして2624回の例会を閉会いたします。点鐘いたします。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金 額
村越会長	佐藤雅教会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
荒井会員	佐藤雅教会員 卓話ありがとうございます。	1,000円
石原会員	卓話ありがとうございました。エール見えています。	1,000円
梶会員	卓話ありがとうございます。	1,000円
上村英生会員	佐藤雅教会員 卓話ありがとうございます。 歌謡曲シリーズ次回も楽しみにしています。	1,000円
上村文明会員	佐藤雅教会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
木村会員	佐藤雅教会員 卓話 有難うございました。	1,000円
小池会員	佐藤雅教会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
鈴木会員	佐藤雅教先生 卓話感謝です。	1,000円
瀧日会員	佐藤雅教先生 卓話ありがとうございました。	1,000円
服部会員	佐藤雅教先生 卓話ありがとうございました。	1,000円
藤本会員	佐藤雅教先生 朝ドラとリンクしたお話をありがとうございました。	1,000円
前田会員	佐藤雅教会員 卓話ありがとうございます。	1,000円
依田会員	佐藤雅教会員先生 卓話ありがとうございました。 公三先生おまんじゅう ありがとうございます。	1,000円
米田会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
当 日 計		15,000円
今期累計		214,000円

合同例会及びロータリー情報研修会が開催されました

11月6日金曜日、ザ・クレストホテル柏にて、国際ロータリー第2790地区第11グループ合同例会及びロータリー情報研修会が開催されました。





今週の表紙「武者小路実篤邸 我孫子山荘」千葉県我孫子市船戸2丁目21番9号
白樺派の創始者として有名な武者小路実篤は、大正5年～7年（1916～18年）に我孫子に住んでいました。
志賀直哉や柳宗悦等と交流し、ここで「大和武尊」「AとB」などを執筆しました。「新しき村」の建設を
唱え、その発会式はこの邸内で行われました。
庭園は今も管理が行き届いており、当時の雰囲気そのまま今に伝えています。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、
森を元気にするための間伐と
間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、
環境貢献として、「森の町内会」を応援します。